

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 405

事業名	共励会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3012		項	児童福祉費・2項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	母子等福祉費・3目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		南あわじ市補助金等交付規則第13条 南あわじ市婦人共励会規約		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち[子育て]			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市婦人共励会(南あわじ市在住の母子及び寡婦で、旧町単位の各支部で活動している者)				構成人数(人) 150
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 自主的相互扶助活動の健全な発達をはかるとともに、母子・寡婦家庭の福祉増進を期する。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 若年母子家庭のつどい、料理教室、講演会、遠足、健康増進講座、総会・県大会参加・全国大会参加など				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) ・母子・寡婦福祉に関する関係機関及び団体の連絡に関すること。 ・母子・寡婦福祉資金貸付者の指導育成に関すること。 ・母子・寡婦家庭の身上相談、内職に関すること。 ・その他、母子家庭・寡婦家庭の福祉に関すること。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (福祉課母子児童福祉係)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	会議費70,000円、事務費225,000円、旅費70,000円、研修費280,000円、事業費408,000円、負担金32,000円、予備費25,810円				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 各旧町単位の婦人共励会を南あわじ市婦人共励会とし、事務局も一本化する。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	350	350	300	300
	共励会補助金	350	350	300	300
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	350	350	300	300
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,535	1,495	1,505	1,505
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	50	50	50	50
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	1,885	1,845	1,805	1,805
「構成人数」一人当り経費 (千円)	12.6	12.3	12.0	12.0	
受益者人数(150)一人当り経費(千円)	12.6	12.3	12.0	12.0	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 事業内容及び事業量から判断して、補助金として適切に執行されている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 母子及び寡婦家庭の福祉増進の観点から必要である。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 本来、自主的活動が基本的な活動のあり方であると思われるが、行政の(事務局としての)サポートが必要なのが現実であり、将来的には自主的活動を中心に実施してほしいと思う。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>最近では年々母子家庭が増えており、児童扶養手当などの行政的支援だけではなく、社会活動に参加するようなグループとして、ますます重要度は増していると思われる。</p> <p>共励会としての活動の内容について、より精査することも必要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 補助金を廃止したら、共励会の活動内容が縮小してしまうと思われる。	